

排泄に課題を抱える障害者の日常生活用具へ 排泄予測支援機器の追加認定についての陳情

1 陳情の要旨

和光市内に居住する排泄に課題を抱える障害児・障害者およびその家族が、日々の排泄にまつわる不安から解放され、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、和光市において、排泄予測支援機器「DFree」を日常生活用具として追加認定いただきたい。

※「DFree」は令和4年4月に特定福祉用具認定され、介護保険適用である。

2 陳情の理由

1 令和6年3月の障害者保健福祉関係主管課長会議資料「日常生活用具給付等事業の適正な実施について」には、「日常生活用具給付等事業については、その事業費が年々増加傾向にあり、今後も安定した事業運営を行うためには各市町村において効果的・効率的な事業実施が図られる必要がある。また、当該団体者等からは、一部の市町村においては、長期間にわたり種目や基準額等の見直しが行われていない状況にあるとの声も寄せられているところである。このため、各市町村においては定期的な当事者の意見の聴取によるニーズ把握や実勢価格の調査等、地域の実情に即した適切な種目や基準額となるよう定期的な見直しに努められたい」と記載がある。

2 排泄に関する困難は、障がい者（以下本人）の身体的・精神的な負担にとどまらず、家族による日々のトイレ誘導やオムツ交換の負担、外出・通学・通所への影響など、本人とその家族の生活全般に波及する切実な課題でありながら、支援の必要性が表面化しにくい領域でもある。「DFree」は、超音波センサーにより膀胱内の尿量を客観的な数値として可視化し、排泄のタイミングを本人や介助者に通知することで、こうした負担を本質的に軽減することが出来る機器である。和光市が隣接する東京都板橋区では、既に本機器が日常生活用具として認定されており、同じ埼玉県内でも行田市が認定を行っているほか、東京都港区、品川区など認定の動きは全国に広がっている。住んでいる地域によって受けられる支援に格差があると言う現状は、日々の介護生活を何とか支えている家族にとって地域から見放された様な孤独感を感じざるを得ず更なる不安の要因となりうると考える。日常生活用具給付等事業は市町村の判断で給付品目を定めることができる制度であり、こうした地域格差や孤独感も市自身の判断で解消することが出来る。和光市におかれましても、本機器の早急な追加認定をして頂けることを強く望む次第である。

3 排泄予測支援機器「DFree」は超音波センサーにより膀胱を経時的にモニタリングし、膀胱内の尿の溜まり具合を0~10で数値化が行われる。その数値は専用タブレットやスマートフォンで確認でき、排尿のタイミングを予測し排尿機会を本人または介助者に通知することが可能である。その為介助者の感覚や時間でトイレ誘導す

るのではなく本人の尿が溜まったタイミングで通知可能な「DFree」を使い、誘導・声かけをすることでトイレで排尿の成功体験が増え、継続して使用中で本人が通知を元に尿意を感じることやトイレへの訴えが出来るようになることも期待できると考える。また、家族にとっても介助の負担の軽減は元よりトイレでの排尿機会が増えることでより明るい見通しが持てるようになり、前向きな気持ちでサポートすることにも繋がる。このように「DFree」は自身で尿意を感じ表出することが難しい障がい者やその家族にとって非常に有用な機器である。故に排泄に悩みを抱える障害者が負担少なく購入できるよう、排泄予測支援機器「DFree」を日常生活用具として追加認定いただきたい。

和光市議会議長 小嶋 智子 さま

令和 8 年 8 月 18 日

住 所 和光市 [REDACTED]

氏 名 [REDACTED]



おしっこの タイミングを 通知でお知らせ!

- 排泄予測機器 -

D Free

1週間
無料で
お試し



DFreeで、尿のたまり具合が「見える」

DFreeは、排尿のタイミングを事前に通知する製品です。超音波センサーを使用して、膀胱内の尿のたまり具合をリアルタイムで計測し、尿意が見える化します。

続きは
裏面へ

DFreeでできること

トイレのタイミングが分からない

- ・ いつおしっこが溜まっているのか分からない
- ・ トイレに連れて行っても出ないことが多い
- ・ 外出時のトイレが不安

たまり具合を10段階で表示 & そろそろ通知

- ・ おしっこが溜まったことを確認してトイレに連れて行ける!
- ・ 外出時に余裕を持ってトイレを探せる!



いつ漏れているのか分からない

- ・ いつおしっこが漏れてしまったか分からない
- ・ できるだけ早くおしっこをしたことに気付いてあげたい

グラフ & でたかも通知

- ・ 溜まり具合の推移がわかるから、排尿傾向が見える!
- ・ でたかも通知もあるから、おしっこが出たタイミングもすぐに分かる!



子どものことを知りたい

- ・ 発語がないから、子どもとのコミュニケーションを取ることに難しさがある

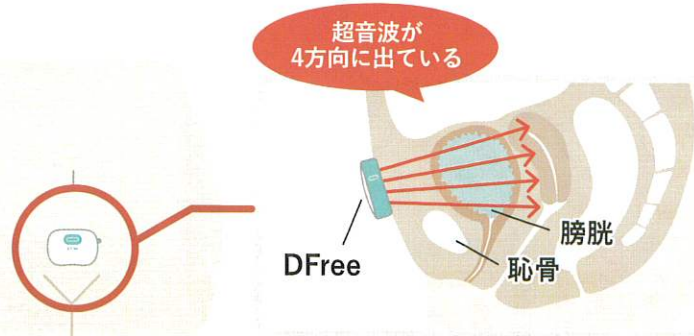
お子さまとの コミュニケーションにも繋がる

おしっこの溜まり具合が分かることで、発語のないお子さまでもトイレのタイミングが分かり、コミュニケーションにも繋がる!



DFreeのしくみ

リアルタイムでモニタリング(膀胱の変化を可視化)



お腹の中にある赤ちゃんを見るときのエコーと同じ
安心な超音波の技術を活用!

10段階で尿の
たまり具合を表示

約**40時間**駆動

防水! 水洗いOK

国内工場で生産

20gと
軽量!



使い方は
こちら▶



ご利用者様の“リアルな声”をご紹介します!



DFree事例を
詳しく見る

DFreeで“トイレの空振り”を改善!
成功率がほぼ100%になりました



7歳 女性 先天性疾病による体幹機能障害/
肢体不自由、発話ができない

困りごと 尿意を伝えられない / トイレの空振り

言葉を話すことができないので「トイレに行きたい」という意思が読み取りづらくて、トイレに連れて行ってもおしっこが出ないことに困っていました。体幹機能に障がいがあるため、トイレに座るときには支えていないといけないんです。DFreeを導入してから排尿のタイミングが掴みやすくなり、失敗の回数が大幅に減りました! ほぼ100%に近いくらい成功しています。オムツの使用量もすごく減りました! 以前は1日に6~7枚使っていたのが、DFreeを使い始めてからオムツを替えなくても済むので、1~2枚にまで減りました。

DFreeで排尿タイミングを数値共有!
学校や放デイとのトイレ連携誘導がスムーズに



6歳 男性 自閉スペクトラム症(ASD) / 発達障害

困りごと おしっこを我慢しすぎてしまう /
こだわりからトイレに行けない

小学校に上がってから、こだわりの強さからトイレに行くことが難しくなっていて、学校や放課後等デイサービスでおしっこを我慢してしまうんですね。漏らすこともしないので、12時間でも平気で我慢していました。我慢のしすぎで平日は毎晩のように膀胱が痛くなり、頻繁に病院に通っていました。DFreeを導入して、子ども自身が尿の溜まり具合を数値で確認できることで、事前にトイレに行けるようになりました。学校などでは先生たちが声かけをする回数が減り、誘導しやすくなったようです。トイレ事情を共有しやすくなったことが良かったです!

DFreeの
使い方

装着



通知



誘導



トイレ
成功



製品の詳細はWEBをご覧ください▶
<https://dfree.biz/kids>



\\こんな使い方!\\

トイレが難しいお子様でも、
排尿傾向の把握に活用できる!



\\ご購入前の無料お試し&充実サポート\\

Step
1

LINEお友達登録

登録は
こちら



トーク画面で、ご連絡可能な電話番号をご入力ください! 後日担当者よりご連絡いたします。

Step
2

1週間 無料でお試し!

充実のメーカーサポート付き!

無料

ご自宅へ DFree の
お試しセットをご送付

1週間のお試し利用で、うまく活用できることを確認してから購入するので安心です!

価格

ご購入とレンタルの2種類をご用意しております。
詳しくはお問い合わせください。

購入

レンタル

販売価格 **85,000円**
(税込93,500円)

月額 **2,480円~**
(税込2,728円)

DFree仕様

サイズ : 幅 51 × 奥行 36 × 高さ 12mm 対応 OS : iOS15.0以上
重さ : 20g Android 9.0 以上
駆動時間 : 約 40 時間 (充電時間: 約 1 時間) Bluetooth : Bluetooth®LE